



複雑な作業をひたすらこなしていくトラクター

## 麦植え付けは任せろ

# このマシンに敵うものはない 耕耘から麦の植え付けまで

農事組合法人八方原の麦植え付けが始まりました。この作業には欠かせない「スーパースター」がこの「麦植え付けマシン」を装備したトラクターです。このトラクターは一度にたくさんのお仕事をこなします。まだ刈り取った稲の株が残った圃場に入ると、非常に微細に耕耘を始めます。畝を成形し、植え付け用の溝を掘り、種をまき、土をかぶせ、上からかなりの圧力で押さえます。そして、必要な肥料を圃場に散布します。

ペレーターは、眠気との闘いかもかもしれません。寒い冬を耐えて、暖かくなると一気に成長する麦は、とても強い作物ですが、管理作業は欠かせません。

11月7日、市道除草清掃が行われました。この事業は山口市から委託されたものです。

以前は一旦集合して作業にかかっていましたが、班ごとに作業する場所が決まっております。それが広範になるため、事前に配布された場所に、班ごとに集合し、自主的に作業を開始する形となりました。

## 市道の除草清掃を班別に分担



各班でそれぞれ仕事の内容も異なる (4 班)

作業が困難な場所もありますが、見るうちにきれいになりました。

## 前期分の日当支払

共同活動今年度前期分の日当の計算ができました。今年もコロナ感染予防のために、大幅に活動が制限されましたので、例年より少ない金額となっております。

## 振興会議で話し合い

当地区の振興会議は団体の責任者に集まっていたが、

ご意見をうかがう会議です。今回は8月の豪雨から始まった洪水対策について話し合いと報告が行われました。市の提案した対策については、ほぼ全員の同意が得られていること、榎野川本流の浚渫についても県に強く要望できたことが報告されました。

新年会の開催については、意見が分かれました。しかし、宴会形式については、やるべきではないの意見が多く、開

## ※寄付のお知らせ

株式会社高山造庭園の新社長から地域の振興にと、過分なご寄付を頂きました。

催するとしても、まさに互例会になるかもしれません。市道八方原森下線については街灯の設置要望が出たことが報告されました。これについては現在調査中だが、全線に渡って設置する形で進めたいと発表がありました。

# 感謝です「事業所の地域貢献」

従前より山口金属曲板工業さんは、従業員さんが地域道路のごみ拾いなどのボランティア活動をしておられます。10月30日には、若い学生といっしょに活動しておられました。

話を聞くと地元の支援学校の生徒さんだとのこと、職場実習の中で、こうして地域貢献も実践しているということでした。「以前よりゴミが少なくなっていますね。」とのこと。

地域で事業を展開しながら同時に、地域への貢献を欠かさない姿勢が、ありがたいですね。



道路沿いの清掃作業、ご苦労様でした(10月30日)

## 他人事じゃない温暖化

NHKB S1スペシャル 2030 未来への分岐点「特別編 持続可能な未来のために」という番組がありました。いかに地球温暖化が深刻で、切迫した問題であるかを様々な角度から検証した番組でした。

食糧問題としての農業も大きな問題に直面していることが分かります。米国では大規模な地下水灌漑による穀物生産が危機に瀕していると言われています。単一生産のための除草剤散布に

よって土壌の栄養分が完全に失われてしまい、植物ができない状況が現れているのです。その上に地下水の汲み上げでその水位はどんどん下がり、もう数十年で枯渇するかもしれないとも言われていました。

莫大な人口を抱える大国が消費する豚肉の生産のために、世界のトウモロコシの3分の1が飼料に使われているのです。

私たちの地域では「農業は雑草との闘い」と嘆いているのですが、土壌の力を見ると、それは頼もしい、素晴ら

しい生産力の現れとも考えられます。

稲刈りの終わった田んぼでは、刈り取られた切り株から、もう一度芽が出て小さな稲穂を実らせています。「ひこばえ」とか「二番穂」と呼ばれています。これらも土壌の力があるからこそ、結実だろうと思われれます。

こうした農業生産も今後はいろいろな制約を受けることになるでしょう。肥料や農薬への環境負荷のより少ない



気温が下がり、日照時間も短いけれど

ものに移行することにあるでしょう。また温暖化ガスの悪玉として名高い「メタンガス」についても抑制が求められることになるでしょう。

日本国内の人間活動によるメタンガス発生量の45%が稲作によるものだとされています。このメタンの抑制には古来からの「中干し」が有効といわれています。土壌の酸素量が増え、メタン菌の活動が抑えられるからと言われています。(科学技術振興機構資料)

また一般生活の中でも徹底したりサイクルや、食物の無駄の抑制、必要以上のプラスチック製品の使用の回避など、身の回りにあることすべてが、地球環境に直結しています。

番組の最後では、最悪の場合、地球上の多く人が居場所を失う「熱い星」になる可能性があるということを伝えていました。

## 田んぼもミネラル補給



秋になると大型トラックが重そうな袋をたくさん積んでやってきます。水田の不足するミネラル分を補給するために、製鉄所などで排出される高温で処理されたミネラル含有物質です。

一袋が200kgとのことですが、たくさんの袋がやってきました。またパワーアップです。